

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米市民対話推進費

1. 人物交流事業費

- (1) 日米センターNPOフェロークシツプ
- (2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI）

2. 催し等事業費

- (1) 市民交流支援（日米市民交流・助成）
- (2) 市民交流支援（教育を通じた相手国理解促進・助成）
- (3) 市民交流支援（日米市民交流・小規模助成）
- (4) 市民交流支援（教育を通じた相手国理解促進・小規模助成）

3. 文化資料事業費

- (1) 市民交流支援（日米市民交流・文化資料）

日米市民対話推進費

1. 人物交流事業費 (1)日米センターNPOフェロースhip

日米間の架け橋となり国際的に活躍できる次世代の人材の育成、日米両国の非営利セクター間の相互理解の促進とネットワークの拡大強化、国内の非営利セクターの人的基盤強化を図ることを目的として、日本の非営利セクターに従事している中堅層に、米国のNPOで中長期のマネジメント実務研修機会を提供。

合計額 27,711,000円

	氏名	現職	受入団体	期間	事業内容
1	中村 絵乃	特定非営利活動法人開発教育協会事業・研修担当	Educators for Social Responsibility Metropolitan Area (ESR Metro)	06.01.20～ 07.01.19	NPOの組織強化／国内の教育活動
2	黒田 かをり	CSOネットワーク共同事業責任者	Social Accountability International	06.02.27～ 06.10.26	途上国の地域社会の問題解決に向けたステークホルダー間のパートナーシップ
3	岩附 由香	特定非営利活動法人開発教育協会代表	Winrock International	06.03.29～ 06.12.28	児童労働分野のNGOのアドボカシーとプログラム、資金調達とネットワーク活動
4	鮎川 葉子	エイズを伝えるネットワーク(TENCAI)代表	Men's Resource Center for Change	07.03.22～ 07.09.21	ネットワーク型非営利組織が、専門機関の連携を実現させるために必要な条件と課題整理を、米国の事例から学ぶ
5	石川 えり	特定非営利活動法人難民支援協会事務局長代行	International Rescue Committee	07.01.21～ 07.05.20	難民支援NGOにおけるプロジェクト・マネジメント
6	土井 香苗	ヒューマンライツ・ナウ事務局員	Human Rights Watch	06.09.01～ 07.06.30	弁護士を中心とする人権NPOの資金基盤、人材基盤及びアドボカシー手法
7	成田 容子	特定非営利活動法人NPO推進青森会議事務局スタッフ	Amnesty International USA	06.10.01～ 07.01.31	アメリカのNPOにおける人権教育プログラム－特にLGBTQコミュニティにおいて－効果が期待できるプログラムを企画、運営するための手法

1. 人物交流事業費 (2)市民交流支援(日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進、および、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。

合計額 24,639,750円

	氏名	受入団体	期間
1	福原 くみこ	ケンタッキー日米協会	2004.08～ 2006.07

	氏名	受入団体	期間
2	横野 由起子	タルサ・グローバル・アライアンス／オクラホマ東アジア教育インスティテュート	2004.08～ 2006.07
3	高橋 祐子	ジョージア日米協会	2004.08～ 2006.07
4	安藤 良子	ダラス・フォートワース日米協会	2005.08～ 2007.07
5	田中 美樹	南部多文化センター	2005.08～ 2007.07
6	村田 有紀子	コスタル・カロライナ大学	2005.08～ 2007.07
7	小島 祥子	アラバマ日米協会	2006.08～ 2008.07
8	木谷 公子	森上ミュージアム	2006.08～ 2008.07
9	織田 美千子	ベサニー大学	2006.08～ 2008.07

2. 催し等事業費	(1) 市民交流支援（日米市民交流・助成）
-----------	-----------------------

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援する。

合計額 75,674,984円

	事業名	対象機関	期間	事業内容
1	環境教育パートナーシップ	ミシガン州立大学	06.03.01～ 07.01.31	ミシガン州と関東地方の高校生及び教員による、異文化環境教育事業。参加者は、淡水系の学習を通じて世界的な環境問題や日米の教育・文化制度の共通点・差異について学習
2	日米グローバル・ネットワークを通じた青少年フィランソロピー教育推進共同イニシアチブ（2年計画事業の2年目）	インディアナ大学	07.01.01～ 08.03.31	国際的な青少年フィランソロピー教育モデルの確立を目的とする事業。日米で調査を行い、共同で新たな教員研修プログラムとパイロット・スタディを策定し、日米で実施

日米市民対話推進費

	事業名	対象機関	期間	事業内容
3	精神障害者の就業支援についての成功例を広めるための日米ネットワーク構築事業（2年計画事業の2年目）	ホライズン・ハウス（マトリックス・センター）	06.01.01～ 06.12.31	精神障害者に対する就業支援の分野において日米間のネットワークを構築。一般向けのシンポジウムを開催し成果を発表。米国でビデオも制作
4	環境教育プログラム「Kids' ISO14000」の日米機軸の設立と米国モデル校事業開始（2年計画事業の1年目）	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	05.12.01～ 06.11.30	申請団体が開発した環境教育プログラムニューヨーク市に紹介。子どもと家庭の環境意識の改革、温室ガスの削減、他地域への展開の基盤の確立を期待
5	生涯現役社会づくりプログラム開発：日米東アジアの比較と協力（3年計画事業の3年目）	九州大学東アジアセンター・オン・エイジング	06.07.01～ 07.03.31	日本とハワイにおけるアクティブ・エイジング・プログラムを調査・理解し、東アジアにおいて同プログラムの開発に協力して取り組む態勢を整備
6	世代間交流プログラム推進のための日米協働事業（2年計画事業の2年目）	ペンシルバニア州立大学	06.09.01～ 07.08.31	日本における世代間交流活動を活性化し、専門家の国際ネットワークを構築。日本の専門家が訪米し、世代間交流事業の成功例を視察。事業成果はウェブサイトや刊行物を通じて頒布
7	アメリカン・サービス・ラーニング・プログラム（2年計画事業の2年目）	VIA（ボランティアーズ・イン・アジア）	06.04.01～ 07.03.31	日本人学生とスタンフォード大学の学生が夏に4週間共同生活をしながら、テーマごとに分かれた研修と地元の非営利組織でのボランティア活動等を実施
8	難民支援に関する日米NPOの経験交流とネットワーク構築	特定非営利活動法人難民支援協会	06.04.01～ 07.03.31	日米両国で国内の難民支援を行っているNPOが、事業のあり方を再検討。両国における難民受容についての共同調査、相手国のNPO訪問、シンポジウムやワークショップ等を実施
9	メリーランド大学プランゲ文庫資料および大阪国際児童文学館資料を基盤とした日米子どもの本・子どもの文化交流プロジェクト	「戦後60+1周年子どもの本・文化プロジェクト」実行委員会	06.04.01～ 07.03.31	メリーランド大学に所蔵されているプランゲ文庫の資料の中から、戦中・戦後の子どもの本と文化を紹介する展示、シンポジウム、ワークショップを実施
10	日米のネットワーク交流を通じたNPO共同事務所施設強化プロジェクト（2年計画事業の1年目）	関西国際交流団体協議会	06.10.01～ 07.05.31	日本のNPO共同事務所施設のネットワークを立ち上げ、日米のネットワーク同士で交流。日米双方の現状を交互に視察

	事業名	対象機関	期間	事業内容
11	アラスカ先住民族の自然観をもとに、地域に根ざした教育を考える日米市民プロジェクト	エコプラス	06.05.01～ 07.02.28	アラスカ先住民族の自然観をもとに地域に根ざした教育を考えるため、大学教授、先住民族の教育家、放送局プロデューサーを招聘し、国内で講演会・ワークショップを開催
12	横浜・サンディエゴ友好都市青少年交流事業（米国NPOボランティア体験スタディツアー）	財団法人 横浜市国際交流協会	06.05.01～ 07.03.31	横浜の青少年をサンディエゴに約1週間派遣し、青少年支援、多文化共生、国際協力、環境問題の分野で活動するNPOを見学
13	日本版ダイバーシティ&インクルージョン アドボケイト・プロジェクト	ジュエル	06.05.01～ 06.08.31	日本社会での多様性と包括性の認知拡大を目指し、専門家等を招聘し、NPO、企業のCSR担当者、メディアとの意見交換を実施
14	HIV/AIDSの治療や予防に取り組む人々の日米草の根交流プロジェクト	カリフォルニア大学サンフランシスコ校	06.06.01～ 07.05.31	日米でHIV/AIDSの治療や予防のため、米国から研究者が訪日、会議等で実践者のための知見を交換した後、日米の実践者が交流、効果的なカリキュラムを開発
15	日米技術教育研修プログラム	ハートフォードエリア・キャリア&テクノロジーセンター	06.05.01～ 06.11.30	バーモントとニューハンプシャーの工業高校生が、福岡の高等技術専門学校を訪問し、授業参加、ホームステイ、就業体験を行う他、助成対象団体の技術教育を紹介
16	2007年模擬国連会議全米大会第24代日本代表団派遣事業	2007年模擬国連委員会	07.02.01～ 07.06.01	模擬国連会議全米大会で、派遣した団員は、担当国の調査、米側提携校の学生との政策調整・立案、国連大学職員の見学を得て研究発表会等を実施
17	太平洋を横断する大使アカウミガメを守るために文化をつなぐプロジェクト	プロ ペニンシュラ	07.03.01～ 08.02.29	絶滅危惧種アカウミガメを守るため、日米メキシコの漁業関係者、環境保護活動家、研究者が意見交換。3ヶ国語による保護戦略を作成し、地域コミュニティ、政府関係者に配布
18	環境教育プログラム Kids' ISO14000の日米機軸の設立と米国モデル校事業開始(2年計画事業の2年目)	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	07.02.01～ 07.11.30	小学生を対象とした環境教育プログラムを米国に導入・普及させるため、教育関係者対象のセミナーや、パイロットスクールにおいて試行

日米市民対話推進費

2. 催し等事業費 (2) 市民交流支援 (教育を通じた相手国理解促進・助成)

日本においては米国に関する、米国においては日本に関する相手国理解促進のための、主として初等・中等教育レベルを対象としたアウトリーチ（知識の普及）活動やカリキュラム開発などを支援する。

合計額 75,497,533円

	事業名	対象機関	期間	事業内容
1	ペリーと日本の開国 (2年計画事業の2年目)	マサチューセッツ工科大学	06.01.01～ 07.10.31	インターネット上で無料で公開されているMITのオープンコースウェアのうちの「黒船とサムライ」と「新興都市横浜」について、中等教育レベル向けのレッスンプランやインターネット教材、用語集などを開発し普及
2	絵本を使った異文化理解：日本の小学校でアメリカ文化を教えるパイロット事業 (2年計画事業の1年目)	エデュケーション・ディベロップメントセンター	06.01.01～ 07.03.31	小学校低学年の教員を対象に、トレーニング及びアメリカ文化を教える教材を提供する事業。アメリカの文化を様々に反映した15冊の絵本と、教員用ガイドからなる。最終的に開発された教材等は、ウェブ上で公開
3	上級編日本理解講座 (2年計画事業の1年目)	アーカンソー大学リトル・ロック校	05.12.01～ 06.11.30	日本についての学習経験または来日経験のある、米国南部地域の教員を対象とし、近年の日本研究に関する研修を実施。ウェブサイトを構築し、日本関連ウェブサイトへのリンクや、参加者が情報交換できるリストサーバを使用
4	日本に関するレッスンを普及させるプロジェクト	ケンタッキー大学	06.05.01～ 08.03.31	ケンタッキー州の教員に日本理解教育用のカリキュラム開発を指導。開発されたカリキュラムはオンライン化。試行授業や改訂を行った後、教員研修等の際、ケンタッキー州内の他の教員に対して成果普及を実施
5	日系移民をテーマとした米国理解教育の教材開発と教員研修 (2年計画事業の1年目)	多文化社会米国理解教育研究会	06.06.01～ 07.03.31	米国理解を深めることを目的とし、日系移民をテーマとした教材開発と教員研修を実施
6	JapaNet:南フロリダの日本・南北アメリカ研究センター (3年計画事業の3年目)	フロリダ国際大学	06.07.01～ 07.06.30	フロリダ州南部の中学・高校教師を対象に、日本または日本と南北アメリカの関係に関する10週間のセミナーを年2回、3年にわたって実施。参加者は教室で利用できる資料を作成し、インターネットで公開
7	上級編日本理解講座 (2年計画事業の2年目)	アーカンソー大学リトル・ロック校	06.12.01～ 07.11.30	日本に関する学習経験または来日経験のある米国南部の教員を対象とした近年の日本研究に関する研修を実施。研修参加者が報告書を作成
8	絵本を使った異文化理解：日本の小学校でアメリカ文化を教えるパイロット事業 (2年計画事業の2年目)	エデュケーション・ディベロップメントセンター	06.12.01～ 07.11.30	小学校低学年の教員を対象に、アメリカの文化を様々に反映した15冊の絵本と、教員用ガイドから構成された教材を提供。教材の使用法に関する教員研修と試行授業を実施。教材他はオンライン化

	事業名	対象機関	期間	事業内容
9	高校生向け「アメリカ理解教育の促進」(産学連携ABIC・関西学院大学共同プロジェクト)(2年計画事業の2年目)	特定非営利活動法人国際社会貢献センター	06.06.01～ 07.03.28	申請団体スタッフの米国滞在経験を生かし、「今のアメリカ」に関する、高校生向けのアメリカ理解のためのテキストを執筆。テキストは、セミナーや出張授業により普及
10	ライシャワー奨学プログラム(2年計画事業の1年目)	スタンフォード大学	07.01.01～ 07.08.31	日米関係でリーダーとして将来活躍することを期待し、米国の高校生(11・12学年)に、専用ウェブサイトを用いて日本や日米関係に関する学習機会を提供
11	「日本史をイメージする」教材開発・普及事業(2年計画事業の1年目)	コロラド大学ボルダー校	07.03.01～ 08.06.30	歴史と社会科のカリキュラムに芸術史を組み込み、世界史の授業で使用可能な教材を開発。世界史のナショナル・スタンダードとの関連を示し、歴史的思考力の育成を強調。教材はオンラインで公開
12	現代問題：変わりゆく東アジア教育パッケージ	南部国際研究センター(SCIS)	07.03.01～ 08.02.29	教材「変わりゆく東アジア(East Asia in Transition)」を改訂し、教員ワークショップを通して普及

2. 催し等事業費 (3) 市民交流支援(日米市民交流・小規模助成)

各地で推進される草の根レベルの各種交流事業に機動的に対応するため、①市民向けアウトリーチを含む、②地域的特性や多民族に配慮がある、③プロジェクトに新しい試みが見られる、などの条件を備える案件に対して小規模の助成を行なう。

合計額 3,748,218円

	事業名	団体名	期間	事業内容
1	市民交流 Grant 小児肥満症に関する日米交流	ヘンリー・フォード・センテニアル・ライブラリー(ミシガン州)	06.11.15～ 07.01.15	小児肥満症予防のため、米国の研究者が訪日し、日本の関係者との意見交換を行うプロジェクト。
	北太平洋サケ保護ネットワーク：日米の共通アジェンダを探る	ワイルド・サーモン・センター(オレゴン州)	06.09.01～ 06.12.31	サケを切り口に生態系・環境問題に関わる日米の研究者・NPO・企業・自治体関係者とのネットワーク構築し、共同プロジェクトを企画するための訪日プロジェクト。
	熊本グローバル・イシュー・ダイアログ	モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団(モンタナ州)	06.09.01～ 07.05.31	モンタナ州と熊本県の姉妹都市関係を基盤に、環境問題についての交流を深める事業。
	子供のヘルスケア：可能性を探る	ムーン・バルーン・プロジェクト(マサチューセッツ州)	06.09.01～ 06.12.31	入院中の子どもたちの心のケアをテーマに、日米の研究者・病院関係者が意見交換するための訪日プロジェクト。

日米市民対話推進費

事業名	団体名	期間	事業内容
国際協力を通じた国際開発	リリーフ・インターナショナル（カリフォルニア州）	06.06.01～ 07.03.31	開発援助、ユース・フィランソロピー、オンライン・アクセスの各テーマごとに日本の団体とのネットワーク強化を図るための訪日プロジェクト。
日米の非営利団体における団塊世代のボランティア	リトル・トーキョー・サービス・センター（カリフォルニア州）	06.10.02～ 08.02.01	定年退職後にボランティアとして期待される団塊世代とNPOの関わり方について日米の意見交換を行うプロジェクト。

2. 催し等事業費 (4) 市民交流支援（教育を通じた相手国理解促進・小規模助成）

米国各地で行なわれる草の根レベルの各種事業を支援するための小規模助成事業。

合計額 10,519,015円

事業名	団体名	期間	事業内容
1 一般グラント(教育) 硬式野球から芽生える友情	ホノルル・フェスティバル財団（ハワイ）	07.03.01～ 07.04.30	ハワイの国際フェスティバルにおいて、野球選手の日米交流と相互理解について紹介するセミナーを実施。
菊を通して日本に触れる	ニューヨーク植物園（ニューヨーク州）	07.03.15～ 07.12.31	助成対象機関による大規模な「菊」展にあわせて、子供向けプログラムを実施。
2 南部・中西部向け小規模グラント 日本紹介のための教員ワークショップ	ベサニー大学（ウェスト・バージニア州）	06.10.01～ 06.11.30	日本に触れる機会の少ないウェスト・バージニア州において教員ワークショップを実施。
「国際木版画展：20世紀初頭の日米英」にあわせた教員ワークショップおよび教材	チェーゼン美術館（ウィスコンシン州）	06.11.15～ 07.03.31	助成対象機関による木版画の展示会にあわせて、20世紀初頭の日本と欧米の文化・芸術を比較する教員ワークショップを実施。
日本への旅	クレア・メル小学校（フロリダ州）	06.10.02～ 06.12.15	体験教室を交えながら小学生に日本を紹介するプロジェクト。
子供の日	オーガスタ・リッチモンド郡学区コミュニティ（ジョージア州）	06.01.05～ 06.05.31	中学生を対象に日本の歌、踊り、武道のデモンストレーションを行い、また日本語を学習中の生徒による発表会を開催。
日本の文学やポップカルチャーにおける女性の描写	東カロライナ大学（ノースカロライナ州）	06.08.01～ 06.11.01	日本の伝統文化やポップカルチャーにおける女性をテーマとした教員ワークショップを実施。
体験して感じよう、日本の素晴らしさ	ギフォード・ストリート高校（イリノイ州）	06.10.30～ 07.03.23	フルブライト・プログラムで訪日経験のある教師が9週間にわたり高校生に日本紹介事業を実施。
日本の美術や文化への入門コース	ハンドメイド・イン・アメリカ（ノースカロライナ州）	07.03.01～ 07.12.31	教員、生徒、一般向けにそれぞれ日本の文化や芸術を紹介するワークショップ等を開催。

事業名	団体名	期間	事業内容
日本への旅：地域の リソースとアメリカ の中心部をむすぶ アイオワの生徒と日 本をつなぐ	ホーリー・トリニ ティ・スクール（オ ハイオ州） アイオワ公共テレ ビ.アイオワ公共放 送委員会（アイオワ 州）	07.02.01～ 07.07.31 06.09.01～ 06.12.31	地域の機関やリソースを活用して日本の芸術や文化につ いて学習するプロジェクト。 インタラクティブな映像中継を通じて、アイオワの生徒 に日本紹介の授業を行うプロジェクト。
日本祭り（ジャパ ン・フェスト）	ジャパン・フェスト （ジョージア州）	06.09.06～ 06.12.05	米国南部最大とも言える日本祭りで日本の様々な文化芸 術を紹介。
「お話」：物語から 日本を発見する	マイアミ大学（オハ イオ州）	06.09.01～ 07.08.31	オハイオ州南西部およびインディアナ州東部の教員や生 徒に対して「お話」（小説・童話・紙芝居等）から日本の 様々な側面を紹介する事業。
森上ミュージアムと フロリダの教師をつ なぐ 平和に向けて…日米 パートナーシップ	モリカミ（フロリダ 州） ノース・ウッズ・イ ンターナショナル・ スクール（ウイスコ ンシン州）	06.07.01～ 07.02.28 06.08.30～ 07.01.15	フロリダ南部の学校において日本に関する授業を実施 し、助成対象機関と長期的なネットワークを形成するプ ロジェクト 日本の地理、文化、日本語について学習するプロジェク ト。
日本を体験する：オ クラホマ教員ワーク ショップ 和紙ワークショップ	オクラホマ州立ノー スイスタン大学 （タレクア） ロバート・C. ウィ リアムズ・ペー パー・ミュージアム （ジョージア州）	06.07.26～ 07.03.31 06.09.15～ 06.12.31	幼稚園および小学校教員を対象に、日本の基礎知識や レッスン・プランなどを提供する事業。 書道や紙すきを通して、日本の文化や歴史について学ぶ プロジェクト。
日出づる国からの声	セルマ・ミドル・C HATアカデミー （アラバマ州）	07.01.11～ 07.12.06	生徒たちが日本について学んだ成果を展示した「博物館」 を作るほか、教員ワークショップも実施するプロジェク ト。
オハイオ州ハンコック 郡と日本をつなぐ	フィンドレー大学 （オハイオ州）	06.09.01～ 06.12.31	小学校教員向けのワークショップ、在留邦人や日本人留 学生による小学校での日本紹介等を実施。
茶道教室	ワシントン・アン ド・リー大学（バー ジニア州）	06.10.04～ 07.02.01	地域の市民や生徒を対象に助成対象機関の茶室にて「茶 の湯」を紹介する講座を開催。

日米市民対話推進費

3. 文化資料事業費	(1) 市民交流支援（日米市民交流・文化資料）
------------	-------------------------

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また共通課題への取り組みを通じて世界貢献することを期待し、趣旨に合った資料作成を行なう。

合計額 423,150円

	事業名	期間	事業内容
1	姉妹都市交流ブックレット	07.03.20～ 07.03.20	2005年度に発行した「姉妹都市交流ブックレット」を1,000部増刷